

大屋交番
(0268)35-0004

広報大屋交番



作成：小金澤



例年9月から10月にかけて、県内では、きのこ採り目的で入山し、道迷いや、急斜面で滑落し、死傷する遭難が多発しています。

きのこ採りは、探すことに夢中になるあまり、山奥へ入り込み、方向感覚を失って現在地が分からなくなってしまったり、危険な崖や斜面に入り込んでしまうことが多々あります。

きのこ採りで入山する際は、登山と同じように「遭難するかもしれない」という危機感を持つとともに、単独での行動は避け、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう。

きのこ採り遭難防止のため、次のことに注意してください。

1 単独入山、入山後の単独行動は避けましょう

単独での入山は、アクシデントが起きた際、救助要請ができない場合があります。複数で入山するようにしましょう。

また、入山した後も、単独行動をして道に迷い、仲間とはぐれてしまうケースが後を絶ちません。お互いに目や声の届く範囲で行動してください。



2 入山場所と予定を家族に伝えましょう

家族には「入山場所」と「予定」を伝えてから出掛けてください。
家族から搜索願が出されても、入山場所が特定できなければ、
搜索が非常に困難になります。

3 携帯電話やヘッドライトを持って行きましょう

携帯電話は、万一の際の重要な通信手段となります。

必ず携帯して入山してください。また、携帯電話のGPS機能をONにしましょう。

秋は日が短く、冷え込みます。万一に備え、防寒着やヘッドライト、食料等を携行してください。



4 急な傾斜に入り込まないようにしましょう

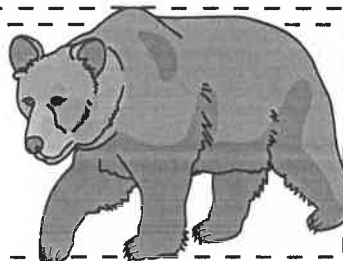
きのこ採りに夢中になるあまり、急な斜面に入り込み、滑落して死傷するケースが多発しています。

不用意に危険な崖や斜面には入り込まないでください。

5 熊などの野生動物に注意しましょう

山中で、熊やイノシシに不意に遭遇し、襲われることがあります。

野生動物からの危害防止のために、鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。



長野県警察・安心アプリ
ライポリス



ダウンロードはこちら！